

平成28年度「キッズ ISO14000 プログラム事業」 協力企業・団体の募集について

1 趣旨

北海道では、地球温暖化をはじめとする環境問題の解決に向けた環境教育の取組の一つとして、平成18年度から、道内企業の皆様の御支援をいただきながら、子どもたちが家庭における省エネルギー等の取組を通じて環境マネジメントの手法を学ぶ環境教育プログラム「Kids' ISO14000 プログラム」を、NPO法人国際芸術技術協力機構（以下「ArTech」）と共同で、道内の小・中学校において実施しています。

この事業については、家庭・学校・企業・NPO・行政が連携しながら子どもたちの環境教育に取り組む好モデルとして、各方面から支持・賛同をいただき、これまでに全道各地の小・中学校で9,000人を超える子どもたちがプログラムに取り組み、環境意識の向上に高い効果を上げております。

つきましては、平成28年度の事業実施に向け、企業・団体の皆様に、事業の実施に必要な経費の御支援をお願いしたく、協力企業等を募集します。

2 Kids' ISO14000プログラムとは

Kids' ISO14000 プログラムとは、ArTechが開発し、文部科学省、環境省、外務省、国連大学（UNU）、国際環境計画（UNEP）等の後援を受け、日本国内及び世界各国で実施され、国際的に高い評価を得ている子ども向け環境教育プログラムで、国際標準化機構（ISO）から「ISO」の名称等使用を特別に許可されています。また、国連が決議し推進している持続可能な開発のための教育の10年計画（UNDESD）の一つとして国連教育科学文化機関（UNESCO）が推薦しています。

プログラムの内容は、子どもたちが家族と一緒に家庭の省エネルギー等に取り組むもので、「環境マネジメントとはどのようなことか」ということを、実体験を通して学ぶことができます。

これまで全国で実施されてきたデータから、

- ①プログラムに取り組んだ大部分の子ども对环境に対する意識が変わり、
- ②子どもの影響により保護者の意識が変わり、
- ③その結果、家庭からのCO₂排出量が減少します。

子どもたちが作成したワークブックを専門のインストラクターが評価し、評価書を一人ひとりに返却することで、環境意識の向上を図るのが特長です。

詳しくは ArTech のホームページをご覧ください。

◆ArTech ホームページ <http://artech.or.jp/kids/>

3 事業概要

①道が、事業に御協力いただける企業・団体を募集し、趣旨に賛同した企業・団体（以下「協力企業等」）が、ArTechに事業費を提供します。

②道が、プログラムを実施する小学校及び中学校（以下「実施校」）を募集します。

★募集対象 道内の公立小学校（1, 120校）及び中学校（620校）

★実施目標 14振興局全てでの実施、児童・生徒1, 200人（小学5年生～中学2年生）

③協力企業等から事業費の提供を受けたArTechは、道を通じ、ワークブックを実施校に送付します。

④実施校は、子どもたちにワークブックを配布します。

⑤子どもたちが、それぞれの家庭で、家族と協力しながら省エネルギー等の取組を実践します。

⑥子どもたちが完成させたワークブックは、ArTechのインストラクターが評価し、子ども一人ひとりのマネジメント能力評価表とデータ分析表を添えて、実施校に返却します。

⑦道は、事業の総合的なコーディネートを担当するほか、事業について、ホームページで公表するなど道民への周知を行います。

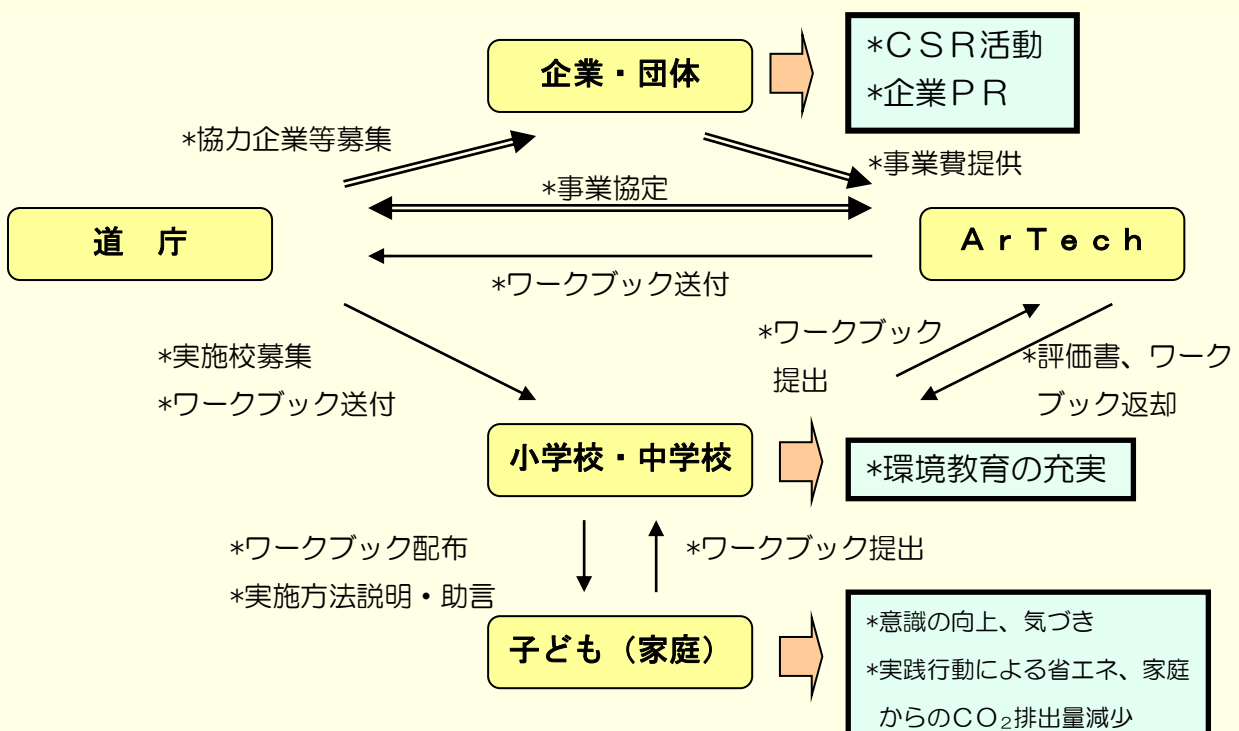
◆道のホームページ

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ksk/kyouiku/KidsISO.htm>

◆平成27年度の実施状況

11市町 14校 児童・生徒 327人

***** 事業スキーム *****



4 募集内容

「平成28年度 キッズISO14000プログラム事業」に対し、事業費の御支援をいただける企業・団体を募集します。

一口 30,000円 ※何口でも結構です。

(一口=児童・生徒1人あたりの経費1,500円×20人分)

御支援を
いただいた
場合

◇道は、協力企業等をホームページで公表するほか、事業を実施する市町村や実施校に周知します。

◇道は、児童・生徒（家庭）に配布する全てのワークブックに、協力企業等名を記載したメッセージを添付します。

◇協力企業等は、本事業へ支援していることを表明できるほか、自社の温暖化対策やCSR活動の一環として、企業（環境）報告書等への掲載やホームページ等で公表することができます。*

※「Kids' ISO14000 プログラム」の名称やロゴ等は、ArTechの知的財産のため、使用にあたっては、事前に下記道庁担当課へ御相談ください。

5 留意事項

★事業費の提供方法（送金方法）については、御協力の申し込みを受けた後に、別途御案内します。

★本事業において御提供いただく事業費は、「寄付金」扱いとはなりません。

6 その他

ArTechでは、「Kids' ISO14000 プログラム」を国際的に展開するための協賛企業を募集しています。詳しくは、ArTechへお問い合わせください。

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-1 渋谷マークシティW 22F

特定非営利活動法人 国際芸術技術協力機構（ArTech）

電話：03-4360-5357 FAX:03-4360-5301 E-mail：Kids-ISO14000@artech.or.jp

7 お問い合わせ、申し込み

★この募集に関するお問い合わせは、下記担当までお願いします。

★協力の申し込みについては、別紙「協力申込書」を下記担当課に送付願います。

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

北海道環境生活部環境局環境推進課 環境戦略推進グループ（担当：山田）

電話：011-231-4111（内線24-222） FAX：011-232-1301

E-mail：kansei.kankyoku1@pref.hokkaido.lg.jp

参 考

(平成27年度実施予定人数を含む)

平成27年度協力企業等

30社・団体 協力金総額 138万円

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社アミノアップ化学、イオン北海道株式会社、石上車輛株式会社、岩田地崎建設株式会社、恵庭建設株式会社、越智建設株式会社、株式会社コサイン、株式会社櫻井千田、株式会社札幌ドーム、サンフロア工業株式会社、新日鐵住金株式会社室蘭製鐵所、株式会社菅原組、株式会社ズコーシャ、株式会社スーパーライン北翔、生活協同組合 コープさっぽろ、苫小牧清掃企業組合、株式会社中山組、株式会社日興ジオテック、長谷川建設株式会社、花本建設株式会社、有限会社原田工務店、株式会社プリプレス・センター、ホクレン農業協同組合連合会、株式会社北海道エコシス、マックスバリュ北海道株式会社、株式会社マテック、株式会社山内組、山本建設株式会社、よつ葉乳業株式会社 ※50音順 敬称略

これまでの取り組み状況

平成18～27年度合計 40市町村 89校 児童・生徒10,036人

管内	市町村	学 校 名	*太字はH27実施校
空知	夕張市	緑小学校	
	岩見沢市	栗沢小学校	
	美唄市	西美唄小学校	
	長沼町	南長沼小学校	
石狩	札幌市	札苗緑小学校、新発寒小学校、二十四軒小学校、前田北小学校、東橋小学校、 上野幌小学校 、西岡南小学校、有明小学校、福井野小学校、北郷小学校、西岡北小学校、宮の森小学校、百合が原小学校、青葉中学校、澄川中学校、宮の森中学校、常磐中学校、中の島中学校、平岸中学校、美香保中学校、 茨戸小学校 、 山鼻小学校	
	千歳市	泉沢小学校	
	北広島市	西部小学校、大曲小学校、高台小学校	
	石狩市	南線小学校、緑苑台小学校、若葉小学校、花川南小学校、聚富小学校、紅南小学校	
後志	黒松内町	黒松内小学校 、黒松内中学校、白井川中学校	
	倶知安町	西小学校	
胆振	苫小牧市	美園小学校	
	登別市	北海道登別明日中等教育学校	
	伊達市	長和小学校	
	壮瞥町	久保内小学校、 壮瞥中学校	
	白老町	萩野中学校	
日高	えりも町	えりも小学校	
	浦河町	荻伏小学校、野深小学校	
渡島	函館市	深堀中学校	
	松前町	大島小学校	
	知内町	知内小学校、湯ノ里小学校、桶元小学校	
	七飯町	大沼小学校	
	北斗市	茂辺地小学校 、 茂辺地中学校	
檜山	上ノ国町	河北小学校、湯ノ岱小学校	
	せたな町	瀬棚小学校、小倉山小学校	
上川	旭川市	近文小学校、近文第二小学校、北星中学校	
	下川町	下川小学校	
	富良野市	扇山小学校	
	東川町	東川第一小学校	
留萌	増毛町	舎熊小学校	
	初山別村	初山別小学校	
宗谷	稚内市	稚内西小中学校	
	礼文町	香深井小学校	
	枝幸町	乙忠部小学校、枝幸南中学校	
	幌延町	幌延小学校	
林-ツ	網走市	潮見小学校、呼人小学校	
	斜里町	峰浜小学校	
	滝上町	濁川小学校、滝上小学校、滝西小学校、白鳥小学校、滝上中学校	
十勝	帯広市	北栄小学校、川西小学校、大空中学校	
	幕別町	白人小学校	
	中札内村	上札内小学校	

釧路	浜中町	琵琶瀬小学校
	標茶町	中茶安別小学校、塘路中学校、磯分内小学校
根室	別海町	野付小学校、別海中央小学校
	中標津町	計根別小学校、中標津東小学校
	標津町	川北小学校、薫別中学校

平成26年度のアンケートより～子どもたちのコメントのご紹介～

「このプログラムを通じて、環境に対する考え方や行動などが変わったと思う」との回答コメントです。

- ・こんなに使っていたんだと思って、少しゲームを控えようと思いました。(小5男子)
- ・電気の無駄づかいが減ることを心がける。(小6女子)
- ・節約しているつもりでもほとんどされていなかった。(小6男子)
- ・自分一人でも「守ろう」と考えれば、環境を変えられると考えるようになった。(小6女子)
- ・今まで電気のつけっぱなしや水があふれていたりしていたけど、そのようなことが環境を破壊していることが分かって変わったと思う。(小6男子)
- ・ちゃんと節約しようと思いました。(中1男子)
- ・環境は簡単なことからでも守ることが出来ると思いました。(中1女子)
- ・ゴミの量が減った。(小5男子)
- ・エコバックを使って、レジ袋をもらわないようにしている。(小5女子)
- ・買い物にエコバックを持っていくこと。(小5女子)
- ・温暖化に対して少し考えなければと思った。(小5男子)
- ・家族全員が電気を消すようになった。(小5女子)
- ・大切に使おうと思うものが増えた。(小5女子)
- ・この活動をみんながやれば、環境が変わってくると思いました。(小5女子)
- ・ゴミの分別をするようになった。(小5女子)
- ・このプログラムをして考え方が変わった。(小5男子)
- ・キッズ ISO をやってから、冷蔵庫を早めに閉めるなど、色んな事に気を使うことが出来た。(小5女子)
- ・キッズ ISO をやったことで、環境のことがわかり、もっと資源を大切にするようになった。(小5女子)
- ・最初は環境問題とかどうでもいいと思っていたけど、いまでは大切に思える。(小5男子)
- ・前は少ししか環境のことを考えてなかったけど、やってみてすごく増えた。(小5男子)
- ・今までもったいないことをしていたので、今度から気をつけるようにしようと思った。(小6男子)
- ・少し改善するだけでも、1年間続ければ、もっと節約できるからとてもよいことだと思う。(小6男子)

アンケートの回答から（原文のまま記載）